

## 育計画成果報告書

法人名等	学校法人 志賀学園
施設名	松の実こども園
報告者（役職）	小泉 真美（園長）
住所・連絡先	福島県いわき市常磐松久須根町内田1の1
	☎ 0246-29-2255
	E-mail taira2@gray.plala.or.jp

### ○タイトル（保育計画）

☆☆キラキラ輝く松の実音楽隊！夢に向かって奏でよう☆☆

### ○主な助成備品

・鼓隊用品一式（大太鼓、中太鼓、小太鼓、シンバル、リラグロックン、キーボード、電子キーボード等）

## 1. 保育計画策定の目的

本園は、昭和55年4月の創立以来、『感性の豊かな日本の心を持った真の国際人の育成』を建学の精神に歩んで参りました。毎年恒例で年長組が東京のリード合奏大会に出場していました。職員は、音楽大学の先生のご指導を受け、楽器演奏の基礎を学び、子どもたちへ伝え取り組んで参りました。本物の音楽に触れ、本物の楽器に触れ、音楽に親しみ、楽器演奏を通して音楽の楽しみや喜び、感動を味わうことにより、豊かな感性を育てておりました。時代の流れとともに現在は、これまでの経験を生かし、ディズニーメドレーやクラシックなどの大曲に取り組み、園内行事や地域のイベントなどで発表しています。

当園には、海岸沿いに立地されていた姉妹園がありましたが、10年前の東日本大震災の津波の被害により、園舎や保育用品、楽器や行事などの備品が全て流失してしまいました。どちらの園も、毎年運動会の鼓隊行進や年度末に締めくくりのコンサートを行っていました。また、県警の交通安全パレードや、地域のイベントなどの依頼を受け鼓隊の演奏を披露したり、地域活動の貢献にも努めておりました。

被災した姉妹園は、平成29年4月にこども園として再建され、流失した備品は震災による義援金や卒園生による記念品などで揃えているところです。これまで、行事で楽器は当園と貸し借りしていましたが、依頼されたイベントは日にちが重ならないように日程をずらしたり、毎年交代で行ったりしていました。

この度、第一生命財団様へ鼓隊用楽器の助成をいただこうと思ったきっかけは、震災の復興支援で全国各地から様々なご支援とご協力をいただく中で、音楽に携わる方々が来園され、歌や楽器の演奏を披露していただいたことが何よりも心癒されたことでした。

どのような困難な状況でも、子どもたちは勿論のこと、私たち大人にとりましても、『音楽』は元気と勇気や希望を与え、前向きに生きていく気持ち、豊かな心を育むことを実感することができました。

残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、地域のイベントの依頼はありませんでしたが、これからも地域との交流をはかり、活性化に努めていきたいです。

園としましては、コロナ禍でありましても、これまで経験させていたことは経験させてあげたいという気持ちで、毎年恒例の園行事はできる限りの対策を取りながら実行して参りました。また、こども園となり、0・1・2歳児のお子様もお預かりするようになりましたので、低年齢児の音楽遊びにつながる環境も整えていきたいと思っております。

このような状況をふまえ、これからも音楽活動を通して、本学園の目指す『感性の豊かな日本の心』を育んでいけますよう、今回の保育計画を策定致しました。

## 2. 具体的な実施内容

- 0歳児・・・☆保育士が子守歌や童謡をうたう  
☆音の出るおもちゃで遊ぶ
- 1歳児・・・☆電子キーボードに合わせて、歌をうたったり打楽器を鳴らして楽しむ



- 2歳児・・・☆打楽器や手作り楽器（太鼓・マラカス・タンバリン・すずなど）を童謡やディズニーメドレーなどの曲に合わせて鳴らしたり行進したりして楽しむ



- 3歳児・・・☆鍵盤ハーモニカで音階や指使いを覚える  
 ☆打楽器に触れる（大太鼓・小太鼓・タンバリン・トライアングル  
 カスタネット・すず）  
 ☆コンサートで歌や合奏を披露する  
 曲：かえるのうた
  
- 4歳児・・・☆鍵盤ハーモニカできらきら星を演奏する  
 ☆コンサートで合奏を披露する  
 曲：踊ろう楽しいポーレチケ



- 5歳児・・・☆運動会で鼓隊演奏を披露する  
 曲：ドラムマーチ・きらきら星・勇気100パーセント  
 (指揮・大太鼓・中太鼓・小太鼓・シンバル・鍵盤ハーモニカ  
 キーボード・リラグロックン・旗・ポンポン)



☆コンサートで合奏を披露する

曲：ラデツキー行進曲

(大太鼓・小太鼓・シンバル・トライアングル・キーボード  
マリンバ・グロッケン・バスマスター・鍵盤ハーモニカ)



### 3. その成果と評価

こども園となり、長時間お預かりするお子さんが増え、夏・冬の長期休みも登園してくるので、第一生命財団様から助成していただきましたおかげで、楽器に触れる時間も多くなり、様々な楽器にも親しむことができました。また、震災で楽器が流失してしまったこども園との貸し借りがなくなり、練習時間を多くとることができたり、たくさんの子どもたちが様々な楽器に触れることができました。

また、例年行事の取り組みの中では、楽器の演奏を楽しむことは勿論のこと、自分の担当する楽器に一生懸命取り組み、お友だちと力を合わせて頑張ることで、心を一つにしていく素晴らしさを体感できました。

行事ではコロナ禍ではありましたが、感染防止対策をとりながら保護者の皆様にも鼓隊や合奏を披露することができ、演奏する喜びや上達につながりました。お聴きいただいた保護者の皆様からは、「新しい楽器の音色が澄み渡ってきれいですね。」「子どもたちも堂々としていて、やる気に満ち溢れていますね。」などお褒めの言葉をいただきました。

0・1・2歳児の子どもたちにも、電子キーボードに合わせて歌をうたったりリズム遊びをしたり、楽しく音楽への興味・関心にもつながりました。

#### 4. 今後の課題と展望

例年、県警主催の交通安全パレードや地域のイベントなどでの鼓隊披露の依頼がありましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、残念ながら開催中止となり、地域への貢献活動の機会がありませんでした。毎年恒例の園行事も、観覧人数の制限により、祖父母の中にはご覧いただけなかった方もありました。また、貸し借りをしていた姉妹園には訪問して演奏を披露する予定でしたが、今回の交流は控えました。外部で発表する機会はありませんでしたが、園行事において鼓隊や合奏などの取り組みは通常通り行うことができましたので、貴重な経験ができて良かったです。

新型コロナウイルスが終息しましたら、引き続きいろいろな機会を設けて、音楽活動の取り組みを実施していきたいと思います。

以上